

2022年12月1日

東洋大学の学生が都営住宅に居住し、都営住宅団地や地域のコミュニティ活動を支援

東京都と「都営住宅及び周辺地域の活性化に係る連携・相互協力に関する協定」を締結

東洋大学（東京都文京区／学長 矢口悦子）は、東京都と「都営住宅及び周辺地域の活性化に係る連携・相互協力に関する協定」を2022年12月1日に締結しました。

この協定は、東洋大学と東京都が相互に連携・協力して学生が地域の住民との交流を図り、学生の人材育成と地域の活性化を図ることを目的としたものです。東京都はこれまで同様の協定を5校と結んでおり、本学が6校目となります。

都営住宅団地は、名義人が65歳以上の世帯が全世帯の6割超と、居住者の高齢化が進行しており、団地や地域の活性化は地域社会の大きな課題となっています。この協定により本学学生が都営住宅に居住して自治会が行う活動に参加・協力することで、団地やその周辺地域の活力あるコミュニティ形成の一助となることを目指します。学生にとっては、低廉な家賃負担で入居できることはもとより、多世代交流による社会経験を積む、地域に貢献できるなど、貴重なケーススタディやフィールドワークの場となることが期待されます。赤羽台キャンパスに近い対象団地への学生入居を支援してまいります。

【関連リンク】

東京都公式Webサイト「大学と連携した学生入居による地域コミュニティ支援事業」（12月1日19時頃更新予定）

https://www.iuutakuseisaku.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/iutaku_fudosan/univ.html



【写真】東洋大学赤羽台キャンパス（東京都北区）

【報道関係者様からのお問い合わせ先】
東洋大学PR事務局（電通PRC内）
MAIL：toyo@group.dentsuprc.co.jp